

ま な や 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.9 2005年6月3日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校(東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車)
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

※ '05.3.13 朝日新聞「天声人語」で「^{まな} ^や 学び舎」と使われていましたので、題字に「び」を入れて元に戻しました。

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

慌しさに追われていたら、季節はもう梅雨間近。庭に咲き乱れている春の花々も、一頃の勢いが失せたようです。先日下の娘が、夜9時頃学生ラウンジ前の植え込みで巨大ガマガエルを発見！すぐ懐中電灯片手に搜索しましたが対面できず、幼き日のいたずら心は満たされないままです。見ずに信じる者は幸い、とはいえ、やっぱり見たかったですね。

今は、新入生の方々も学校に慣れ、夏休みまでの一ヶ月半学びに集中できる時。気候が定まらぬ日々ですが、「健康管理も主の奉仕のうち」と、身体に気をつけ励んでいただきたいと思います。

「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。」(I コリント6:20) 校長 関野祐二

● 入学式雑録

今年も入学式は4月1日。式後の授業はナシにしたので、出席の神学生たちも心なしか平安な顔。ところが、開始時刻になっても入学者の席がひとつ空いたままで、さては当日になって逃げ出したかと、こちらは心配しきりでした(結局、日を間違えていたことが後に判明。コラッ!)。ともあれ、2005年度は正規生5名(内、聴講からの編入3名)、聴講生4名の入学です。不思議な主の導きで、この日に我ら学び舎へと加えられた喜びを分かち合いました。説教は、説教Bと敬虔主義担当のピーターソン先生。献身者の生活は、山折りの紙のてっぺんを歩くような危ういものではなく、谷折りの底を歩くような、これ以下に落ちようがない(?)へりくだりの生活との、実演まじりの説き明かしに、新入生も在校生も(教師も)深くうなずいたのでした。

今年度も、社会でひとつの仕事を成し終えたか、その日が近い方々の入学が目立ち、その風格と意気込みに圧倒される思い。記念写真では、どう見てもこちらが新入生です。こんな若僧が申し訳ありませんと内心お詫びしつつ、心を鬼にしてレポートやクイズを課さなければ。

式後の学生会主催歓迎会は、もはや手馴れた域の手作りパーティー。新入生を心から歓迎している在校生の思いが随所にあふれています。デジカメ一眼を首にさげ、手にはイチゴの紙皿を持ったH兄(コクバンそうじ師の異名も)が語った歓迎のことばの温かさが印象的でした。彼を含め、昨年度入学の面々がすっかり落ち着いて、もう何年も学んでいるかのように見えたのは驚き。

● 元ドゥーロス号のケニー・ガン氏来校

5月23日夜チャペルに、丸山先生(教会史担当)の友人で、福音船ドゥーロス号の元チャプレン、現在は宣教団体OM理事のケニー・ガン氏をお迎えしました。マダムMの広告で知られた俳優チャールズ・ブロンソンそっくりの精悍な風貌(シンガポール生まれだそうです)。コピーは

「かつてのマフィア、キリストへ。船長はイエスさま」。なるほど、と納得しました(!)。家庭に恵まれずドラッグに溺れ、刑務所と病院を往復していたという氏が、キリストとの出会いで全く変えられたとの証しは強烈な印象。日ごと神学校で学んでいる聖書のみことばは、ここまで人を変える力あるものなのだと、柔和な(どこか凄みのある)ケニー氏に皆が感動を覚えました。福音を生き、行動し、存在そのものが主イエスの愛を証しする、そんな器になりたいですね。

● にぎやかな日、さびしい日

聖契神学校は単位制ですから、各クラスを何人が履修するかは学期はじめに蓋を開けてみないとわかりません。さらに教師12人全員が現場の牧師あるいは働き人で、来校しやすい曜日に授業を設けている関係上、いきおい同じ日にクラスが集中します。この相乗効果で、前期は曜日と時間帯によって極端に学生人数が偏る結果となりました。たとえば木曜日はギリシャ語のみで、クラス学生は2人。語学クラスの手厚い指導は恵みですが、宿題や演習で当てられる頻度が高いのと、チャペル担当の順番がすぐにまわってくるのが悩みです。ところが木曜夜は、ヘブル語10名、旧約通論11名、牧会カウンセリング3名、組織神学8名の、計32名という大所帯。教室が足りず、私が担当する組織神学Ⅰはチャペル後ろの教団会議室。チャペルは椅子を一列増やしました。全神学生の7割という一体感を味わえる、貴重なひとときと言えましょう。

学生会もこの日この時間帯を狙い、5月26日は夕方から授業開始まで軽食の交わり会を準備。私も出先から駆けつけ交わりに加えてもらいました。いるはずの寮生の顔があまり見えないのは、もしかして夜クラスのレポート追い込み? 豪華な食事を前に、ちょっぴり良心が痛みました。

● ニュースフラッシュ

新年度に入ってから、資料請求や学校見学など入学に関する問い合わせがすでに4件。幸先の良いスタートです。4月より神学英語は新たに赤星師が、組織神学Ⅰは私が担当開始。前者はともかく後者は教師学生共に(!?)四苦八苦しています。入学式で話題を作ったK兄は5月9日に婚約。9月10日が結婚式です。昨年来のうねりはまだ続きます。Y兄は入院手術された奥様の看病で前期休学。奥様の完全ないやしと兄の復学を皆で祈っています。5月30日は雨天決行された神学校対抗ソフトボール大会。全校が集まらず練習試合になったそうですが、聖契は3戦全勝! 6月6日が仕切り直したそうですが、どうなるか。神学校を運営する聖契キリスト教団の夏キャンプ(群馬県赤城山)で、今年は神学校教師数名が講師。きっと期待以上の活躍でしょう。私も松原湖やCSKで奉仕予定。神学校の看板を背負っているので、ちょっぴり緊張します。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生45名と教師12名の学びや授業準備、健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが支えられるように。特に、4月より学びを開始した正規生5名、聴講生4名が支えられるように。学びが充実し、主の働き人として整えられていくように。
- ・ 神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営や経済的満たし等の各面で支えられるように。諸教会の支援と祈りの中で、諸教会に仕える働き人を養成する超教派機関としての役割を、十分果たせるように。
- ・ 神学校施設、特に水周りで修理や改善の必要な箇所がいくつかあります。費用が満たされ、既存の施設をより良く活用できるように(クリスチャン業者が与えられています)。